

2019年度又エック・フォーラム
JAWW ワークショップ
「北京+25に向けて
若い世代にどう引き継いでいくか」
2019. 8. 30. @国立女性教育会館

若い世代の 性と生殖に関する健康と権利ー1

西山千恵子

はじめに

性と生殖に関する健康と権利とは？

- 1994年、カイロ国際人口・開発会議で提唱された。
- リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
- 性と生殖に関する健康：性と生殖に関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも良好な状態であること
- 権利：性と生殖に関する健康を享受することができ、自分の身体を自分自身の意思で決められる権利。

以下を含む

- **自分を尊重** し、する、しない、産む、産まないを責任をもって自由に **自分で決定** できる。
- そのための **情報** と手段を得ることが出来る



2015年8月、内閣府特命担当大臣が妊娠・出産について医学的・科学的に正しい知識の教育を強調。保健体育副教材を改訂し、全国の高校に配布した。

裏表紙には改訂委員会な どに錚々たる大学教授ら 専門家たちの氏名が

健康な生活を送るために（平成27年度版）【高校生用】

本教材（第2次改訂版）は、文部科学省補助金（健康教育振興事業費補助金）により、公益財団法人日本学校保健会に設置した「児童生徒の心と体を守るための啓発教材の改訂委員会」において内容を検討し、文部科学省学校健康教育課が編集し、作成したものである。

委員（〇：委員長）

- 〇 委員 津江／名古屋学芸大学教授（順天堂大学教授）
- 大澤 功／愛知学院大学教授
- 〇 委員 西野／埼玉医科大学（埼玉県教育委員会教育委員長）
- 西井 智／大阪府教育委員会生涯学習健康体育課首席指導主事（大阪府立鶴岡高等学校長兼部長）
- 高橋 浩之／千葉大学教授
- 西岡 伸紀／兵庫教育大学大学院教授

（改訂は平成26年度委員会設置当時であり、（ ）内は平成27年4月1日現在）

また、本改訂に際して、以下の方々のご多大なご支援をいただいた。

- 小川 伸久／東北工業大学教授
- 尾崎 智樹／日本大学歯学部教授
- 鬼頭 英明／兵庫教育大学大学院教授
- 片野田耕上／国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部がん統計解析室室長
- 杉山 正明／東京都立新宿山吹高等学校教諭
- 宇津見真一／日本眼科協会理事
- 岡部 信彦／旭崎市健康安全研究所所長
- 北村 邦夫／一般財団法人日本家族計画協会家計調査センター所長
- 樋口 素子／早稲田大学スポーツ科学学術院准教授
- 高山 晋／厚生労働省健康局がん対策・健康増進課課長補佐
- 松野 淳／横浜府教育委員会生涯学習部指導専任課主任指導主事
- 野間 基子／神志川公立養育高等学校教諭
- 松田 正彦／国立精神・神経医療研究センター室長
- 芳賀めぐみ／厚生労働省健康局がん対策・健康増進課生涯学習専任員補佐
- 直家晃 仁／（財）国立病院機構久米野医療センター教育情報部長
- 松本広美代／東京都立山崎高等学校主任教諭

著作権所有／文部科学省

■ 本教材の作成協力者（〇：委員長）

（改訂版）

平成20年8月作成

- 〇 委員 西野／国立大学法人兵庫教育大学理事・副学長
- 藤田 誠治／聖心女子大学教授
- 鬼頭 英明／兵庫教育大学大学院教授
- 小嶋 謙／国際武道大学教員
- 香取 由志／福岡県立門司南高等学校校長
- 坂本 浩／福岡県朝倉市立東方中学校教諭
- 杉山 正明／東京都立新宿山吹高等学校教諭
- 高岡 邦子／埼玉県立越谷南高等学校教諭
- 山下 邦夫／愛知県安城市立尾西中学校長兼教諭
- 三村 美子／群馬県関谷女子大学教授

（初 版）

平成18年3月作成

- 〇 委員 西野／国立大学法人兵庫教育大学理事・副学長
- 石川 智恵／神戸大学教授
- 藤田 誠治／愛知学院大学教授
- 高野 淳／愛知学院大学教授
- 片野田耕上／国立がん研究センターがん統計研究部がん統計解析室室長
- 小嶋 謙／国際武道大学教員
- 香取 由志／福岡県立門司南高等学校校長
- 坂本 浩／福岡県朝倉市立東方中学校教諭
- 坂本 浩／福岡県朝倉市立東方中学校教諭
- 杉山 正明／東京都立田原南高等学校教諭
- 西岡 伸紀／兵庫教育大学教授
- 西岡 伸紀／兵庫教育大学教授
- 樋口 素子／早稲田大学スポーツ科学学術院准教授
- 高山 晋／厚生労働省健康局がん対策・健康増進課課長補佐
- 松野 淳／横浜府教育委員会生涯学習部指導専任課主任指導主事
- 野間 基子／神志川公立養育高等学校教諭
- 松田 正彦／国立精神・神経医療研究センター室長
- 芳賀めぐみ／厚生労働省健康局がん対策・健康増進課生涯学習専任員補佐
- 直家晃 仁／（財）国立病院機構久米野医療センター教育情報部長
- 松本広美代／東京都立山崎高等学校主任教諭

* 本資料の編纂については、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課において行われました。

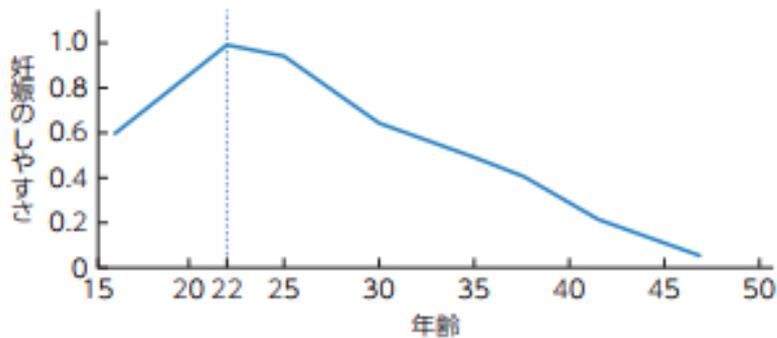
年 組 名 前

掲載された「医学的、科学的に正しい」 妊娠と年齢についてのグラフ (p.40)

20 健やかな妊娠・出産のために

妊娠のしやすさと年齢

女性の妊娠のしやすさの年齢による変化



22歳時の妊娠のしやすさを1.0とする

(O'Connor et al. 1998)

医学的に、女性にとって妊娠に適した時期は20代であり、30代から徐々に妊娠する力が下がり始め、一般に、40歳を過ぎると妊娠は難しくなります。

一方、男性も、年齢が高くなると妊娠に関わる精子の数や運動性が下がり始めます。

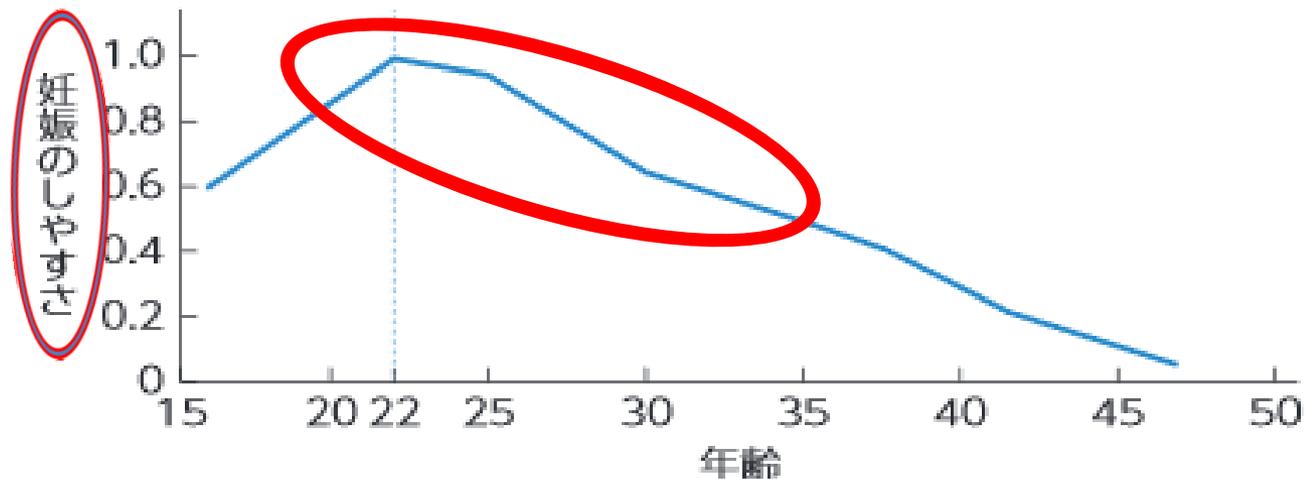
ところがグラフは間違い！ 改ざんされていた

- グラフがネットで新聞報道されるや、ツイッター世界で「おかしい」との指摘
- 出典にあたると、そんなグラフは見当たらない
- グラフのカーブは全体的に変えられており、22歳からの急落を強調
- 各新聞社も誤りを報道

女子高生を早期の結婚・妊娠に 追い詰める産め産め詐欺グラフ

妊娠のしやすさと年齢

女性の妊娠のしやすさの年齢による変化



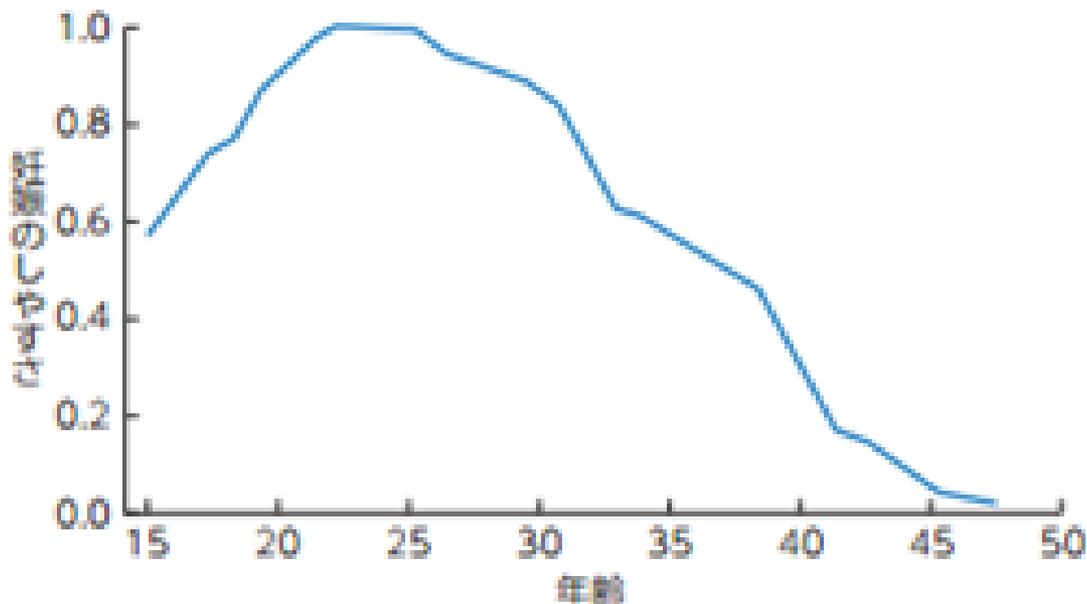
22歳時の妊娠のしやすさを1.0とする

(O'Connor et al. 1998)

その後出された訂正グラフも 誘導的で、間違っている。

妊娠のしやすさと年齢

女性の妊娠のしやすさの年齢による変化



22歳時の妊娠のしやすさを1.0とする

- 結婚時の年齢、結婚期間や、配偶者(夫)との年齢差などの影響もコミコミのグラフなのに・・・
- 全部女性の年齢のせいになっている！

少子化対策(人口政策)のために 高校生にウソを教える!?

- 他にも誤り、不適切箇所がたくさん
- ほとんどが「早く産ませる」方向に誘導
- 誤った知識では、「自分の身体を自分で決める」ことはできない!

＝「性と生殖に関する健康と権利」の
侵害

子供とはどのような存在か？ (p.38)

生きがい78.9%？ 無償の愛56.4%？

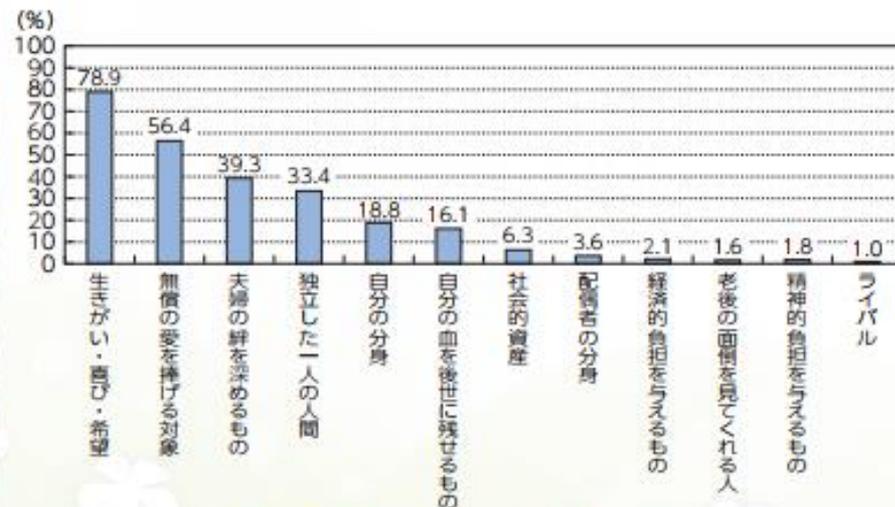
子供とはどのような存在か

皆さんは、子供をもつことについてどのように捉えているのでしょうか？

未婚・既婚を問わず子供をもつことについてどのように考えているか尋ねた調査結果では、「生きがい・喜び・希望」、「無償の愛を捧げる対象」とする回答割合が高く、子育てによる経済的、精神的負担よりも、子供は日々の生活を豊かにしてくれ、生きる上での喜びや希望であるという意識が強いことがうかがえます。



子供はどのような存在か



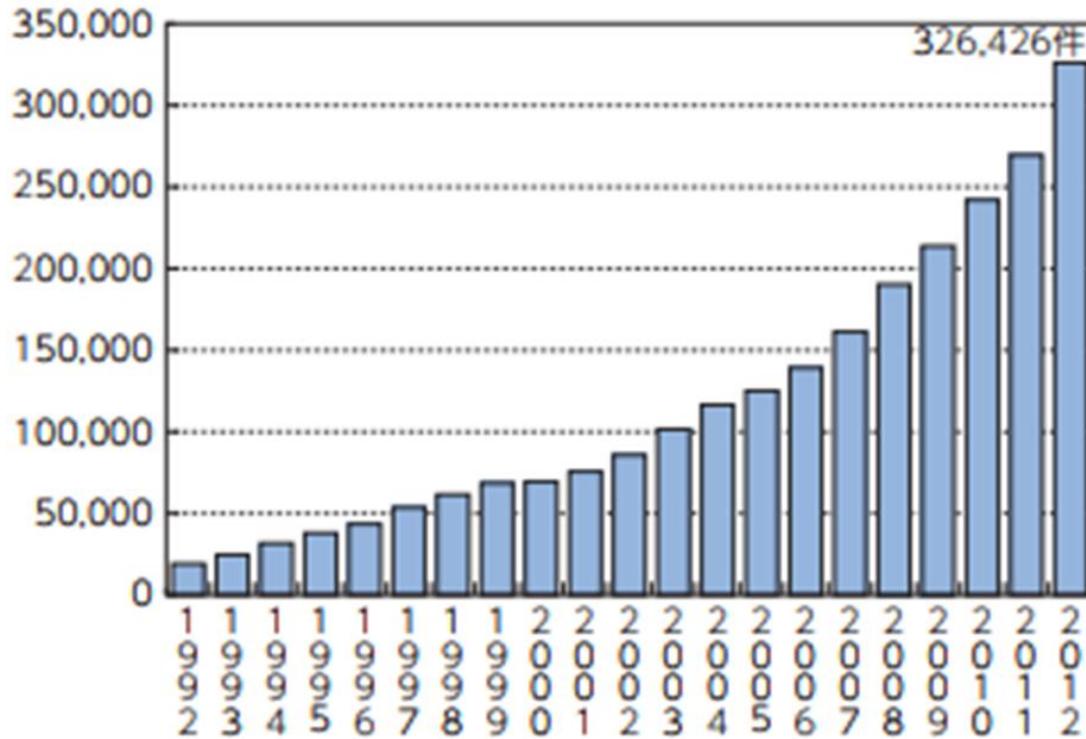
資料：厚生労働省雇用均等・児童家庭局「少子化に関する意識調査」（2004年）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成

- (注) 1. 「あなたにとって子供とはどのようなものですが。独身の方も、仮定でお答えください。(〇は3つまで)」と尋ねた問に対して回答した人の割合。
2. 選択肢はほかに、「その他」。

- 「子供は生きがい・喜び・希望」:78.9%
→実際は69.3%
- 「無償の愛をささげる対象」:56.4%
→実際は47.3%
- 子供＝「生きがい」「無償の愛」を数字を水増しして強調。
- 「この商品に90%のお客様が満足しています」といった宣伝と同じ手法

不妊で悩む人が増加している

体外受精など不妊治療数（年別）



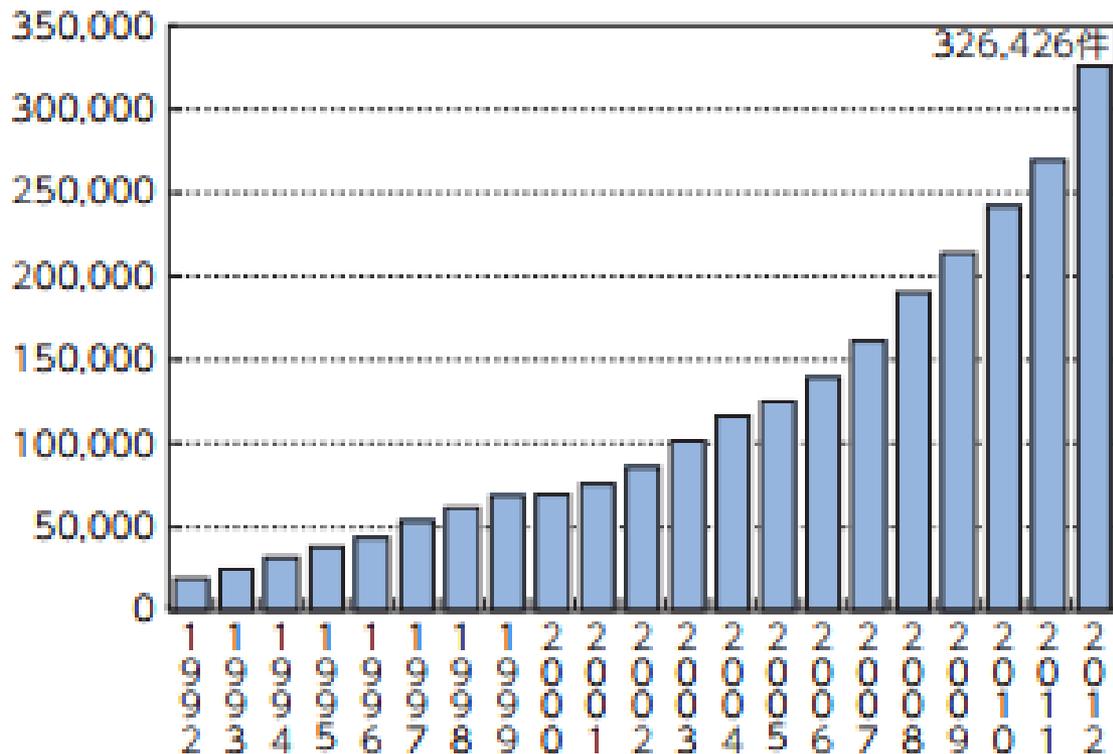
出典：日本産科婦人科学会（2012）

生殖可能な年齢の男女が妊娠を希望し、避妊することなく性生活会を行っているにもかかわらず、1年以上妊娠しない状態を「不妊」といいます。

不妊で悩む人が急増している（p. 39）

不妊で悩む人が増加している

体外受精など不妊治療数（年別）



出典：日本産科婦人科学会（2012）

生殖可能な年齢の男女が妊娠を希望し、避妊することなく性生活を行っているにもかかわらず、1年以上妊娠しない状態を「不妊」といいます。

よくみると治療数の
延べ数のグラフ・・・
関係ないキャプションでグ
ラフの見方をミスリード

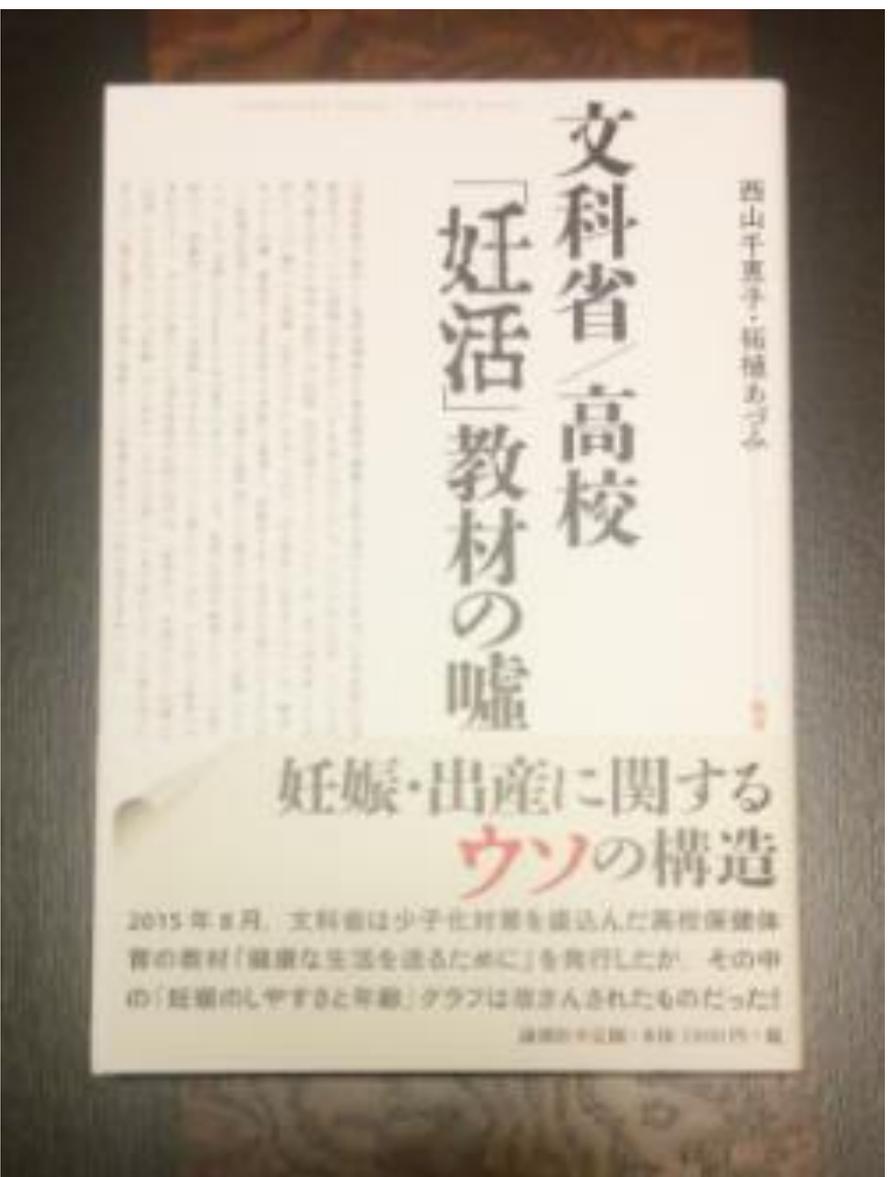
高校保健トンデモ副教材の背景

- 2015年3月、3度目の少子化社会対策大綱が閣議決定される。
- 総合的かつ長期的な少子化に対処するための施策の指針
- **学校教育段階**からの妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識の教育、ライフプラン作り→副教材の改訂へ
- →中・高生のうちから人口増加政策に向けての「(母)親教育」

高校生にウソを教えるな！集会

- 高校保健・副教材の使用中止・回収を求め会、緊急集会開催(2015. 9.11)
- 内閣府少子化担当大臣、文科省大臣あてに要請文、質問状送付、面談の実現
- 少子化担当大臣に対して「妊活教育」を要望した日本産科婦人科学会等9団体に質問状送付
- 詳しくは『文科省/高校「妊活」教材の嘘』(論創社 2017)をご覧ください。

副教材、おかしいよね？との疑問、高校生にウソを教えるな、との思いから
高校保健・副教材の使用中止・回収を
求める会ができた↓文科省／高校妊
活「教材の嘘」の出版へ。



トンデモ副教材のその後は？

- 2017年3月末に副教材の新たな改訂版が発行（平成28年度版）、現在も使用中
- 「回収を求める会」が指摘した問題点のほとんどが削除、修正されていた。
- しかし、新たな怪しいグラフや不適切表現が登場・・・。

妊娠と年齢の関係を知らない人が多い？ のウソ（現・副教材 p.39）

妊娠と年齢の関係を知らない人が多い？

2013年に、15歳から39歳までの男女に対して行われた意識調査の結果を見ると、妊娠と年齢の関係について「知っている」と回答した15歳～19歳は全体の約半数のみでした。また、その他の年齢層でも「よく知らない」「知らない」と回答した人が約2～3割認められました。

調査結果

（設問）妊娠と年齢の関係では、男女ともに年齢が高くなるほど妊娠する確率が下がることや、妊婦の年齢が高くなるほど自然流産率が高くなること、妊娠中の異常（産科合併症）の発症頻度が高くなること、子どもの染色体異常のリスクが高くなることなどが分かっています。このような妊娠と年齢の関係についてご存じですか。当てはまるもの一つを選択してください。



厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「若者の意識に関する調査」(2013年)より

妊娠についての「無知」を強調して 「知識を教える」ことの根拠づくり

- 「知っている」
全体：68.9% 15-19歳：56.1%
- 「聞いたことがあるが、よく知らない」
全体：24.3% 15-19歳：32.2%
- 「知らない」
全体：6.9% 15-19歳：11.8%

「知らない人が多い」と言えるのか？

キャプションに「？」をつけて、煽り、ゴマカシ。

「設問」自体に問題がある

妊娠と年齢の関係では、男女ともに年齢が高くなるほど妊娠する確率が下がること・・・などが分かっています。このような妊娠と年齢の関係についてご存じですか。当てはまるもの一つを選択してください。

(赤字・下線筆者。何歳ごろから下がり始めるのか、示されていない。17歳？ 22歳？・・・生徒たちに、とにかく年をとることを不安にさせ、焦らせるだけ。)

正しい情報を知ることが大切です・・・ 現・副教材にはリンク先が掲載

まずは正しい情報を知ることが大切です。そして一人で悩まないことが重要です。

知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと

検索

http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=144718&name=2r98520000035kxv_1.pdf

もっと詳しくしりたいときは

19 妊娠と出産

不妊 事業等のあり方に関する検討会



19 妊娠と出産

全国の女性健康支援センター一覧



19 妊娠と出産 (1)

知っていますか？
男性のからだのこと、
女性のからだのこと



20 妊娠と出産 (2)

職場における
子育て支援



21 がん

がん情報サービス
国立がん研究センター



現・副教材が勧めるリンク先には またも怪しいグラフが・・・

リンク先のサイト、

『知っていますか？ 男性のからだのこと、女性のからだのこと』(2012)※には、おかしな「卵子の数グラフ」が・・・。

※平成 24 年厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」

知っていますか？
男性のからだのこと、女性のからだのこと
～健康で充実した人生のための基礎知識～



2016年度版 **まずは正しい情報を知ることが大切です。」として紹介されていた冊子。**

男性・女性ともに妊娠・出産には適した年齢があります

日本人の平均寿命は延びています。20～30歳代は、仕事を始めたり、家庭を持ったり、社会の中で自分の役割が充実する重要な時期です。ライフプランを考える中で、子どもを持つ時期についても、早くからよく考えておく必要があります。

◎女性について.....

特に、妊娠・出産には適した年齢があります。女性の卵子は、加齢とともに質・量共に低下する(表1)ため、自然に妊娠する力は30歳から下がり始めます。

◎男性について.....

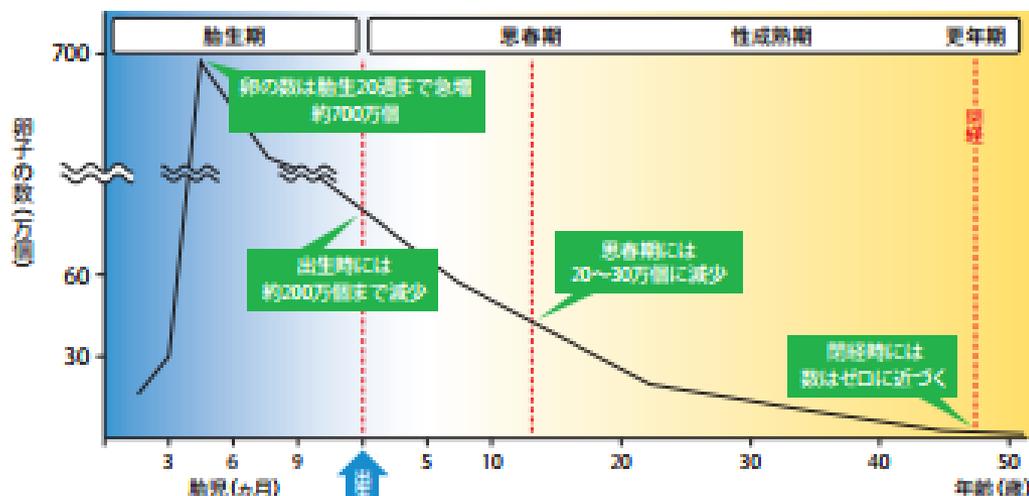
加齢とともに、妊娠率が低下します。

「いつでも子どもは持てる」と思いがちですが、女性の年齢が上がると、不妊治療を受けても、なかなか妊娠しないことが分かっています(表2)。



< 表1：女性の各年齢における卵子の数の変化 >

卵子は、出生後は新たに作られることがなく、質・量ともに減少し続けます。そのため、年齢とともに、妊娠しにくくなったり妊娠の異常が起きやすくなります。



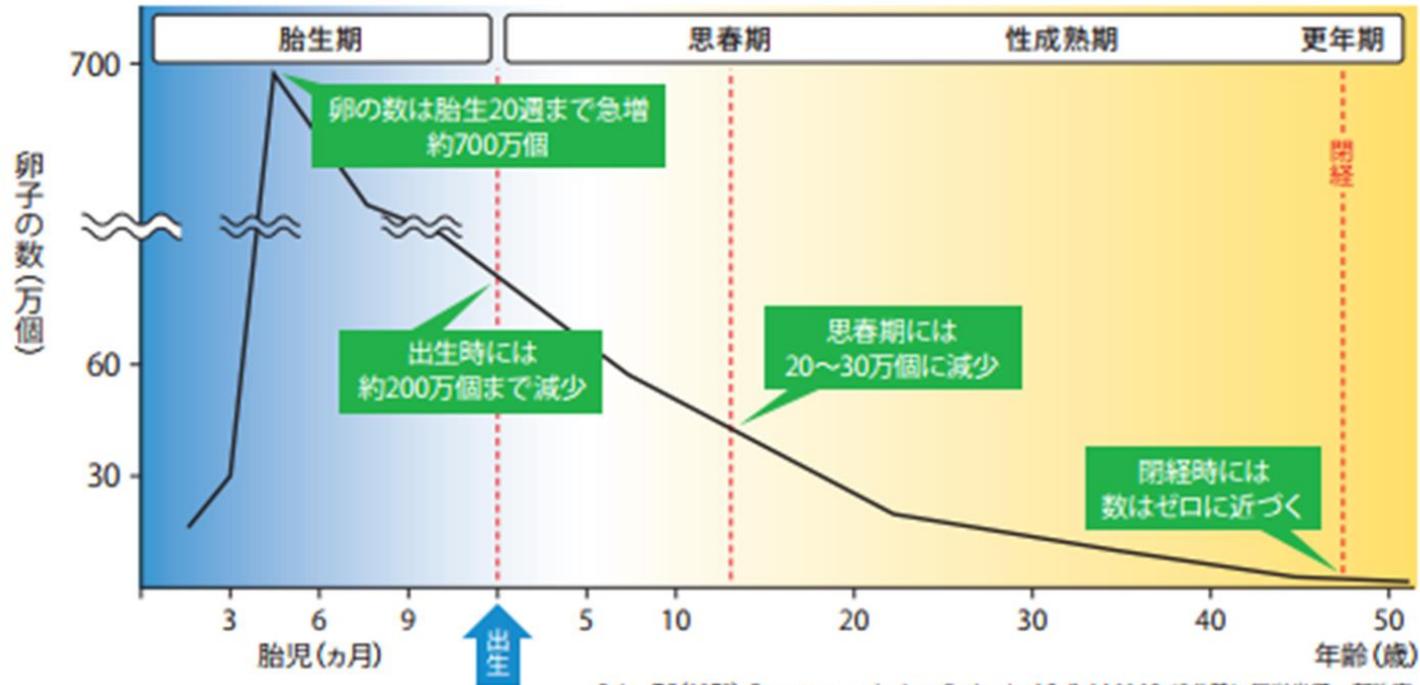
Baker TG(1972) Gametogenesis, Acta Endocrinol Suppl 166:18-42を基に原野省で一部改変

同冊子 卵子は加齢とともに質・量共に低下する(表1)(p.6)
 ☆間違いさがしをしてみましょー。

グラフの数字は支離滅裂... 「女は右下がり」とだけ言いたいのか？

＜ 表1：女性の各年齢における卵子の数の変化 ＞

卵子は、出生後は新たに作られることがなく、質・量ともに減少し続けます。
そのため、年齢とともに、妊娠しにくくなったり妊娠の異常が起きやすくなります。



Baker TG(1972) Gametogenesis, Acta Endocrinol Suppl 166;18-42を基に厚労省で一部改変

卵子の数と妊娠のしやすさって、 直接に関係してるの？

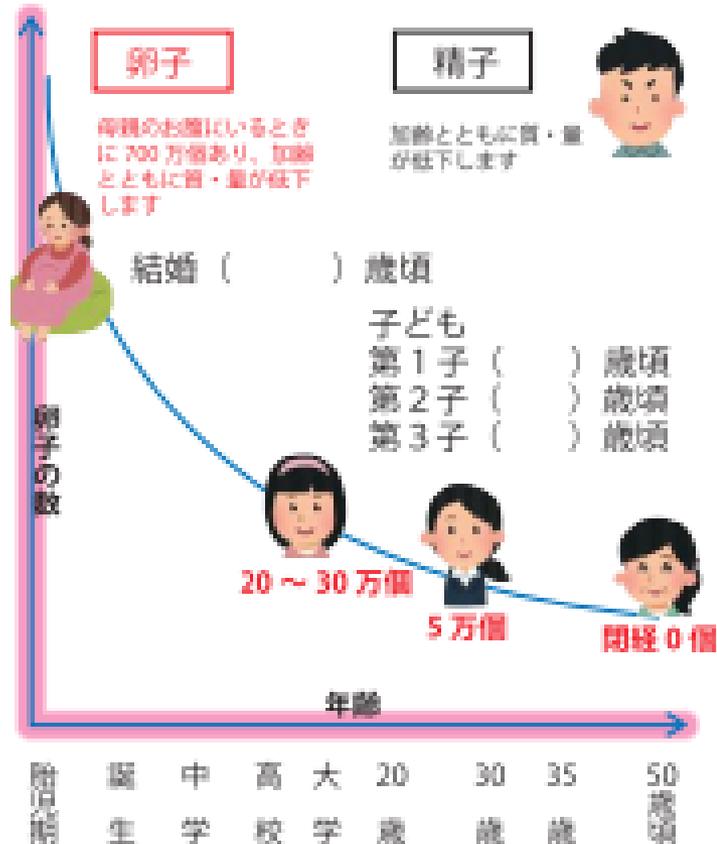
- 「卵子は加齢とともに数が減少するなどの理由により、おおむね30代後半以降となると妊娠しにくくなる」(現・副教材 p.38)
- 文としてヘン、なのはさておき、卵子数の減少が妊娠のしにくさの理由って、本当？…どの年齢でも卵子の数は減っていますが？
- 「女性の年齢と卵子の数」グラフ、少子化対策で全国的に流行中。

福岡県・マイライフデザイン(2017)

「高校の授業で活用していただく・・・」

●医学的には男女共に妊娠・出産には適した年齢があります

晩婚化や晩産化が進み、不妊に悩む人が増加しています。不妊は、男性側の原因が24%、女性側の原因が41%、両方の原因が24%、原因不明が11%というWHO（世界保健機構）のデータがあります。



・女性の卵子、男性の精子は、加齢とともに質・量ともに低下します。

・女性は、35歳くらいを過ぎると、不妊治療を行ったとしても、年齢が高くなるほど出産に至る確率が下がることが分かっています。

・さらに、40歳以上の妊娠では、妊婦の妊娠に伴う病気や、流産のリスクが急激に高まるなど、年齢が高くなるほど、妊娠・出産には、母子とも危険が伴います。

・また、10代での妊娠においても、死産のリスクが高いことが分かっています。

このようなことから、医学的には男女ともに妊娠・出産には適した年齢があり、女性では20～35歳くらいと言われています。

現・副教材でも固定的性別役割表現： 性別二分法、「愛され女子」？ p.31



 厚生労働省

知っておきたい
性感染症mini講座

モテキにこそ
「**する**」オトコ

予防

政府インターネットテレビ
「身近なことです。性感染症～大切な人を感染させないためにあなたができること」
<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg7565.html>

厚生労働省 性感染症  全国の保健所で相談が可能な施設あり

※写真はイメージです。



 厚生労働省

知っておきたい
性感染症mini講座

愛され女子の
「**しない**」宣言

感染

政府インターネットテレビ
「身近なことです。性感染症～大切な人を感染させないためにあなたができること」
<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg7565.html>

厚生労働省 性感染症  全国の保健所で相談が可能な施設あり

※写真はイメージです。

「正しい知識は必要」というけれど

- 少子化対策(=人口増加政策)としての
- 妊娠適齢期キャンペーン
- ライフデザイン教育は
- いらぬ

「正しい知識は必要」というけれど

- 自分で自分の性・身体や生き方を探り、考え、選んでいくための情報・知識を、情報リテラシーを。
- 多様な生き方の提示を。
- 包括的性教育を。